

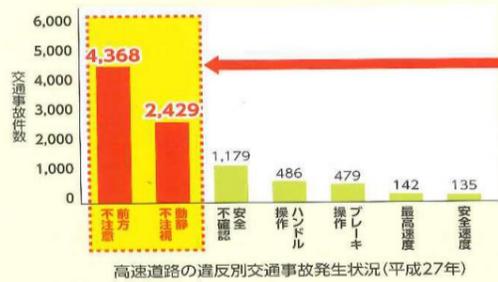
## 今月の重点管理目標 — 高速道路の事故防止 —

### 1 「慣れ」「油断」による漫然運転に注意

7月と8月は高速道路での死亡事故が多発する次期です。高速道路での死亡事故原因をみると、圧倒的に「前方不注意」が多くなっています。高速道路走行に慣れてくると、単調な運転から「わき見」をしがちですので、絶対に前方から目線をそらさない運転をして下さい。



● 高速道路ではちょっとした「わき見」が重大事故につながる

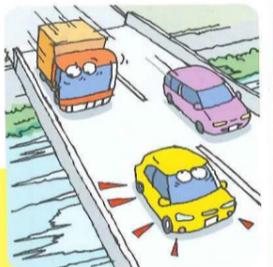


**ここに注目!**  
高速道路での事故は、「前方不注意」「動静不注視」で約7割を占めている

**事故事例に学ぶ** **本線上で停止していた乗用車に追突**

2013年7月、伊勢湾岸道で午前5時ごろ、大型トラックのドライバーがタバコを取ろうとわき見をして、追越車線に停止していた乗用車の発見が遅れて追突、乗員3人が死亡しました。事故は乗用車の故障が原因と思われ、トラックの前車は進路変更して回避していました。

**教訓** 高速道路でも停止車両や歩行者がいるので、絶対に「わき見」しない



### 2 一人ひとりのヒヤリ・ハット体験を共有する

運転中に危険を感じてヒヤリしたりハットした体験は誰でもが持っています。一人ひとりが持っているヒヤリ・ハット体験を集めて、それをもとにミーティングなどで検討し、他人のヒヤリ・ハット体験を共有して事故防止を図る。



### 3 車間距離を意識させるためにエコドライブを推進しよう

高速道路では追突事故が多発しますが、その原因の一つには車間距離の不足があります。車間距離を意識する方法としてエコドライブを推進し、燃費を意識するようになれば、自然に車間距離をとり早めにアクセルを戻すなど安全運転にも結びつきます。業務・車両単位で数値目標を掲げて取り組みましょう。



#### 事故防止の ヒント

##### 路肩での作業は命とり

高速道路の路肩に停車して作業しているところに、後続車が突っ込んできて作業者が死亡する事故が後を絶ちません。路肩は安全な場所ではありませんので、路肩では作業せずすぐに救援を呼んでください。

